

資料3-3③ モニタリングプロット選定理由

モニタリングプロット	モニタリングポイントNo.	林班	小班	面積	樹種	H22林齢	間伐実施年度	プロット選定理由
1	1	14	79	4.51	スギ	31	2010	林相が類似しているため、グループ化し、同一のモニタリングプロットで代表することとした。 モニタリングプロットは林道・作業道からの距離や地形を考慮し、成長が平均的となるよう斜面中部(等高線の混みが少ない)に設定した
2	9	24	10-3	4.57	スギ	29	2007	林相が類似しているため、グループ化し、同一のモニタリングプロットで代表することとした。 モニタリングプロットは林道・作業道からの距離や地形を考慮し、成長が平均的となるよう斜面中部(等高線の混みが少ない)に設定した
	10	24	9-2	6.89	スギ	30	2008	
	11	24	9-6	0.78	スギ	28	2007	
	12	24	8-1	0.41	スギ	28	2009	
	13	24	9-1	5.27	スギ	36	2009	
	14	24	9-3	1.40	スギ	30	2008	
	15	24	7	5.90	スギ	29	2008	
3	16	24	7-1	2.70	スギ	29	2008	林相が類似しているため、グループ化し、同一のモニタリングプロットで代表することとした。 モニタリングプロットは林道・作業道からの距離や地形を考慮し、成長が平均的となるよう斜面中部(等高線の混みが少ない)に設定した
	18	25	2-2	8.74	スギ	30	2008	
	19	25	2-1	1.20	スギ	31	2007	
4	23	25	2-3	6.84	スギ	29	2008	林相が類似しているため、グループ化し、同一のモニタリングプロットで代表することとした。 モニタリングプロットは林道・作業道からの距離や地形を考慮し、成長が平均的となるよう斜面中部(等高線の混みが少ない)に設定した
	17	25	5	5.00	スギ	38	2008	
	21	25	4	9.08	スギ	36	2008	
5	22	25	5-1	6.79	スギ	37	2008	林相が類似しているため、グループ化し、同一のモニタリングプロットで代表することとした。 モニタリングプロットは林道・作業道からの距離や地形を考慮し、成長が平均的となるよう斜面中部(等高線の混みが少ない)に設定した
	20	25	3-1	0.66	スギ	31	2007	
	28	26	3	6.44	スギ	31	2007	
6	29	26	4	11.06	スギ	31	2007	林相が類似しているため、グループ化し、同一のモニタリングプロットで代表することとした。 モニタリングプロットは林道・作業道からの距離や地形を考慮し、成長が平均的となるよう斜面中部(等高線の混みが少ない)に設定した
	30	26	6-4	4.42	スギ	29	2010	
	31	26	5-3	0.50	スギ	29	2010	
	32	26	5-1	0.50	スギ	32	2007	
	33	26	5-2	0.50	スギ	30	2010	
	34	26	8-6	2.50	スギ	31	2008	
	35	26	6-3	3.70	スギ	30	2007	
	36	26	7-1	0.40	スギ	30	2008	
	37	26	6-2	2.00	スギ	31	2007	
	38	26	6-5	1.95	スギ	29	2010	
	39	26	7-2	2.00	スギ	29	2010	
	40	26	6-1	0.76	スギ	32	2007	

7	42	27	8	0.68	スギ	35	2009	林相が類似しているため、グループ化し、同一のモニタリングプロットで代表することとした。 モニタリングプロットは林道・作業道からの距離や地形を考慮し、成長が平均的となるよう斜面中部(等高線の混みが少ない)に設定した
	43	27	7	1.30	スギ	35	2009	
	44	27	1	0.65	スギ	30	2008	
	45	27	3	3.43	スギ	39	2009	
	46	27	4	0.68	スギ	43	2009	
	47	27	10	2.59	スギ	39	2009	
	48	27	10-1	1.73	スギ	37	2009	
	49	27	9	1.00	スギ	35	2009	
	50	27	6-1	0.88	スギ	35	2009	
	52	28	8	0.51	スギ	28	2010	
	53	28	9	0.47	スギ	28	2010	
	54	28	11	8.11	スギ	43	2009	
	57	28	17-1	0.25	スギ	25	2009	
	58	28	13	2.00	スギ	42	2009	
59	28	14	1.86	スギ	41	2009		
8	26	26	2-2	0.61	スギ	28	2008	林相が類似しているため、グループ化し、同一のモニタリングプロットで代表することとした。 モニタリングプロットは林道・作業道からの距離や地形を考慮し、成長が平均的となるよう斜面中部(等高線の混みが少ない)に設定した
	27	26	1	1.60	スギ	35	2010	
	64	28	22-1	9.28	スギ	36	2008	
	65	28	22-2	0.37	スギ	35	2008	
	66	28	24	0.70	スギ	35	2008	
	67	28	25-1	0.66	スギ	30	2008	
	68	28	23	0.68	スギ	30	2008	
69	28	22	2.00	スギ	37	2008		
9	24	26	8-1	0.28	スギ	37	2010	林相が類似しているため、グループ化し、同一のモニタリングプロットで代表することとした。 モニタリングプロットは林道・作業道からの距離や地形を考慮し、成長が平均的となるよう斜面中部(等高線の混みが少ない)に設定した
	25	26	9	1.70	スギ	26	2010	
	41	26	8-2	7.11	スギ	33	2008	
10	70	29	10-1	1.10	スギ	31	2009	林相が類似しているため、グループ化し、同一のモニタリングプロットで代表することとした。モニタリングプロットは林道・作業道からの距離や地形を考慮し、成長が平均的となるよう斜面中部(等高線の混みが少ない)に設定した
	71	29	12	3.15	スギ	31	2007	
	72	29	13-3	0.53	スギ	32	2007	
	73	29	12-1	0.83	スギ	35	2010	
	74	29	13-2	0.36	スギ	29	2010	
	75	29	6-2	1.25	スギ	30	2009	
	76	29	7	11.06	スギ	44	2010	
	77	29	8	3.48	スギ	38	2010	
	86	30	1-1	0.73	スギ	30	2009	
	87	30	14	1.43	スギ	35	2010	
112	29	14	2.37	スギ	35	2010		

11	78	29	5-1	0.70	スギ	36	2010	林相が類似しているため、グループ化し、同一のモニタリングプロットで代表することとした。 モニタリングプロットは林道・作業道からの距離や地形を考慮し、成長が平均的となるよう斜面中部(等高線の混みが少ない)に設定した
	79	29	5-2	1.58	スギ	28	2009	
	80	29	2-1	6.81	スギ	33	2010	
	81	29	4	7.83	スギ	34	2010	
	82	29	4-1	8.29	スギ	33	2010	
	83	29	3-1	0.60	スギ	33	2007	
12	2	20	18-1	1.26	スギ	32	2010	林相が類似しているため、グループ化し、同一のモニタリングプロットで代表することとした。 モニタリングプロットは林道・作業道からの距離や地形を考慮し、成長が平均的となるよう斜面中部(等高線の混みが少ない)に設定した
	3	20	14	1.74	スギ	34	2009	
	4	20	11-1	0.15	スギ	28	2010	
	5	20	13	4.78	スギ	35	2009	
	6	20	6	0.32	スギ	25	2010	
	7	20	8	0.66	スギ	29	2010	
	8	20	26-3	0.89	スギ	29	2010	
	51	28	3	4.20	スギ	33	2010	
	84	30	6	1.24	スギ	33	2009	
	85	30	7	0.18	スギ	33	2009	
	88	30	25	0.80	スギ	29	2009	
	89	30	20	4.08	スギ	30	2009	
	90	30	9	0.77	スギ	33	2010	
	91	32	2	0.89	スギ	35	2009	
92	32	9	0.92	スギ	34	2007		
13	93	61	19	2.00	スギ	31	2007	林相が類似しているため、グループ化し、同一のモニタリングプロットで代表することとした。 モニタリングプロットは林道・作業道からの距離や地形を考慮し、成長が平均的となるよう斜面中部(等高線の混みが少ない)に設定した
	94	61	20	0.50	スギ	31	2007	
	95	61	21	2.50	スギ	31	2007	
	96	61	22	0.24	スギ	31	2007	
	97	61	23	0.23	スギ	35	2007	
	98	61	24	1.00	スギ	35	2007	
	99	61	25	3.77	スギ	35	2007	
	100	61	44	5.00	スギ	34	2007	
14	101	62	102	3.00	スギ	23	2007	林相が類似しているため、グループ化し、同一のモニタリングプロットで代表することとした。 モニタリングプロットは林道・作業道からの距離や地形を考慮し、成長が平均的となるよう斜面中部(等高線の混みが少ない)に設定した
15	102	63	6	5.40	スギ	31	2008	林相が類似しているため、グループ化し、同一のモニタリングプロットで代表することとした。 モニタリングプロットは林道・作業道からの距離や地形を考慮し、成長が平均的となるよう斜面中部(等高線の混みが少ない)に設定した

16	103	70	68	2.74	スギ	33	2007	林相が類似しているため、グループ化し、同一のモニタリングプロットで代表することとした。 モニタリングプロットは林道・作業道からの距離や地形を考慮し、成長が平均的となるよう斜面中部(等高線の混みが少ない)に設定した
	104	70	91	0.85	スギ	33	2010	
	105	70	100	2.00	スギ	33	2010	
	106	70	107	0.83	スギ	33	2010	
	107	70	109	0.50	スギ	33	2010	
	108	70	158	0.82	スギ	33	2010	
	109	70	147	0.26	スギ	32	2010	
17	110	71	29	7.32	スギ	27	2009	林相が類似しているため、グループ化し、同一のモニタリングプロットで代表することとした。 モニタリングプロットは林道・作業道からの距離や地形を考慮し、成長が平均的となるよう斜面中部(等高線の混みが少ない)に設定した
	111	71	32	4.68	スギ	27	2009	
18	55	28	19	1.34	スギ	42	2009	林相が類似しているため、グループ化し、同一のモニタリングプロットで代表することとした。 モニタリングプロットは林道・作業道からの距離や地形を考慮し、成長が平均的となるよう斜面中部(等高線の混みが少ない)に設定した
	56	28	18	2.10	スギ	42	2009	
	60	28	16-1	2.04	スギ	36	2010	
	61	28	16-2	0.85	スギ	35	2009	
	62	28	17	0.75	スギ	42	2009	
	63	28	21	10.95	スギ	40	2009	